

1. パーソナリティ特性論の5因子(ビッグファイブ) ※要注意!

- ①外向性 ②調和性(協調性) ③誠実性 ④情緒安定性(神経症的傾向) ⑤経験への開放性

2. 心身症・・・発症や経過に心理社会的因子が密接に関与する病態

3. カウンセリングの諸理論(※語群は過去に出題されたキーワード!)

- ① 論理療法→ エリス、非合理的信念、論駁、行動指示技法、ラショナルビリーフ、REBT
② 実存分析→ フランクル、実存哲学、ロゴセラピー
③ 交流分析→ バーン、ストローク、ディスカウント、脚本、相補的交流、構造分析、ゲーム
④ 来談者中心療法→ ロジャーズ、共感的理解、共感、ストランズ、現象学、自己概念、非指示的、
実現傾向
⑤ 行動療法→ ウォルピ、逆制止療法、シェービング、学習、強化、対症療法
⑥ ゲシュタルト療法→ パールズ、エンプティチェア、図と地の反転、まとまりのある構造
⑦ 現実療法→ グラッサー、3つのR
⑧ 家族療法→ 一般システム論
⑨ 森田療法→ 森田正馬、精神交互作用
⑩ 短期療法→ ド・シェイザー・バーク、解決志向アプローチ

4. パーソナリティ形成の諸説 ※要注意!

- ①輻輳説→ シュテルン ②層理説→ ゴットシャルト ③環境閾値説→ ジェンセン

5. 成人期(中年期)のパーソナリティ

- ①人生の午後 ②中年の危機

6. カウンセリング理論の機能

- ① 予測 ② 客観的 ③ 反復 ④ 共通 ⑤ 体験

7. 倫理綱領

- ①人間尊重 ②勤労者 ③専門的 ④勤労者

8. 防衛機制 ※要注意!

- ① 逃避 ② 退避 ③ 現実への逃避 ④ 空想への逃避 ⑤ 病気への逃避 ⑥ 抑圧 ⑦ 置き換え
⑧ 摂取 ⑨ 投射(投影) ⑩ 反動形成 ⑪ 合理化 ⑫ 昇華 ⑬ 逆転移 ⑭ 補償 ⑮ 同一視

9. キャリアガイダンスの6分野

- ①自己理解 ②職業理解 ③啓発的経験 ④カウンセリング ⑤方策の実行 ⑥方策の実行
⑥フォローアップ

10. キャリアガイダンスの6分野

マズローの欲求階層説 A. 自己実現の欲求 B. 安全の欲求 C. 生理的欲求

アルダーファのERG理論 D. 成長欲求 E. 関係欲求 F. 生存欲求

11. カウンセリングの各段階

- ① リレーションづくり ② 問題の把握 ③ 目標の設定 ④ 目標の達成